



つくる。つむ。つなぐ。

東京佼成ウインドオーケストラ

#165 Subscription Concert

第165回 定期演奏会

ジョン・マッキー John Mackey

オーロラは目覚める Aurora Awakes

ソプラノ・サクソと

ウインド・アンサンブルのための協奏曲

Concerto for Soprano Sax and Wind Ensemble

翡翠 Kingfishers Catch Fire

レッドライン・タンゴ Redline Tango

フロズン・カテドラル The Frozen Cathedral

オール

《ジョン・マッキー》
プログラム

6/8 2024 SAT 開演:18:30
(開場:17:45)

なかのZERO 大ホール

〒164-0001 東京都中野区中野2丁目9番7号 TEL:03-5340-5000 (代表)

指揮 飯森範親 Norichika Iimori, Conductor

ソリスト 林田祐和 Hirokazu Hayashida, Saxophone

演奏 東京佼成ウインドオーケストラ



Tokyo Kosei Wind Orchestra

TICKET (全席指定・税込)

一般: ¥5,000 U25: ¥2,500

25歳以下の方のための割引サービスです。
公演当日は年齢を証明できるものをご持参ください。
取り扱い: TKWOチケットサービス なかのZEROチケットセンター

会員先行: 2024/4/1 (月)

一般発売: 2024/4/8 (月)

東京佼成ウインドオーケストラ チケットサービス

WEBチケットサービス

いつでも予約可能!

※定期メンテナンス
毎日3:00-4:00

座席指定

クレジット決済

電子チケット

コンビニでの支払・発券



TEL

03-5341-1164

9:30-16:30

土・日・祝を除く

プレイガイド

- チケットぴあ
- ローソンチケット
- e+ (イープラス)
- なかのZEROチケットセンター
03-3382-9990 (10:00-19:00)
<https://nicesacademia.jp/>

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※出演者・曲目・時間等は変更になる場合がございます。※お申し込み後の変更・キャンセルはお受けできません。
※公演中止の場合を除き、払い戻しはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

主催: 一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

共催: なかのZERO指定管理者

後援: 一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、

公益社団法人日本吹奏楽指導者協会、公益財団法人日本音楽教育文化振興会、

一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人日本吹奏楽普及協会、

日本コロムビア株式会社、株式会社テレビマンユニオン

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金

(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))

独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人東京都歴史文化財団

アーツカウンシル東京

【東京ライブ・ステージ応援助成】



ARTS COUNCIL TOKYO

東京佼成ウインドオーケストラ事務局

TEL 03-5341-1155

<https://www.tkwo.jp/>



オール《ジョン・マッキー》 プログラム

中橋愛生 (TKWO楽芸員)

いま世界の吹奏楽から最も注目されている作曲家の一人、ジョン・マッキー。1973年に生まれ名門ジュリアード音楽院などで学んだ若き先鋭は、瑞々しい感性とアグレッシブなグルーブ感を併せ持つ作品群を発表している。日本でも最初期である20年ほど前からその才能は注目され、多くの団体に演奏されてきた。日本の団体のために作られた作品も増えつつあり、飽きられるどころか二層の注目度の高まりをみせている。そして、満を持しての今回。TKWOがただ一人の作曲家の作品だけで定期演奏会のプログラムを組むのは、編曲作品を除くと第31回(1982年)のアルフレッド・リード自作自演以来となる。

今回はマッキーを語る上でエポックな作品が並ぶ。管弦楽からの編曲作品である『レッドライン・タンゴ』は、2004年度のウォルター・ビーラー記念作曲賞と2005年度のABAオストワルド作曲賞を受賞した衝撃的な吹奏楽デビュー作。それまでダンスと結びついた作品を発表していたマッキーの作風の根源を示す一曲でもある。

『オーロラは目覚める』は2009年度のABAオストワルド作曲賞とNBAウィリアム・レヴェリ記念作曲賞を同時受賞したことでマッキーの評価を決定づけた作品。アイルランドのロックバンド「U2」の音楽とホルスト『第二組曲』の引用が新しい時代の覚醒を喚起する。

『翡翠』は2007年に日本音楽合奏指揮者会議(JWEC)のために作られたもので、この曲のためにマッキーの初来日が実現した。パンダのトラペットの交唱により、宝石の輝きを宿す水鳥の飛翔がコンサート・ホールに幻出する。

同じく空間性が重要な要素となっている楽曲が『フロースン・カテドラル』。マッキー作品を特徴づける金属打楽器群が空間的に配置され、ホール全体が一つの凍れる大聖堂となる。だが、曲のテーマは「喪失」。その場に居合わせることで、得も言われぬ感覚に捉われることになるだろう。

そして、なんと言つても注目は、TKWOが誇るコンサート・マスターである林田をソリストとした『ソプラノ・サクソス協奏曲』。楽器の素材に注目した全部で5つの楽章から成る協奏曲は、とにかく苛烈。その妙技をしかと目と耳に刻みたい。

今回、タクトを握るのはTKWO首席客演指揮者の飯森範親。多様な同時代の音楽への理解とともに、情熱的な音楽創りに定評のある飯森だけに、マッキーの幽玄な響きや鮮烈なリズムをどのように組み立てるのか、興味は尽きない。22世紀へ向けて疾走する音空間を体感してほしい。

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

(敬称略)

PROFILE

飯森 範親 (首席客演指揮者)

Norichika Imori, Conductor



桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、プラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

ACCESS



〒164-0001 東京都中野区中野2丁目9番7号
TEL:03-5340-5000(代表)
●JR・東京メトロ東西線 中野駅南口より徒歩8分

林田 祐和 (サクソフォン)

Hirokazu Hayashida, Saxophone



宮崎県出身。東京藝術大学卒業・同大学大学院修士課程修了。第22回日本管打楽器コンクール・サクソフォン部門において審査員満場一致の第1位。クローバー・サクソフォン・クワルテットのソプラノサクソフォン奏者。キングレコードよりアルバム「クローバー」(2008年)「プレシャス」(2011年)「ゴルトベルク変奏曲」(2015年)リリース。中でもサクソフォン四重奏曲の名曲、デザンクロ、シュミット、サンジュレーの四重奏曲を収録した「プレシャス」はレコード芸術誌特選盤、音楽の友誌注目版、読売新聞特選盤を獲得。清水靖晃&サキソフォネッツのメンバーとして、ビクターエンタテインメントより「ペンタトニカ」、エイベックス・クラシックスより「ゴルトベルク・ヴァリエーションズ」リリース。また、CM、ドラマなどのレコーディングにも多数参加している。サクソフォンを田中靖人、須川展也、富岡和男の各氏に師事。室内楽を中村均一氏に師事。武蔵野音楽大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、各非常勤講師。

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra



1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、正指揮者に大井剛史、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、首席客演指揮者に飯森範親、ポップス・ディレクターに藤野浩一を擁している。2024年4月より大井剛史が常任指揮者に就任予定。吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

第2回

TKWO 吹奏楽カフェ

第165回定期演奏会の聴きどころや楽曲について、常任指揮者 大井剛史と楽芸員 中橋愛生によるトークセッションで解説いたします。

2024年 **5月8日** [水] 19:15開店
管楽器専門店ダク「スペースDo」(最寄駅「新大久保」駅)

料金 **2,500**円(税込) ■ 共催: 管楽器専門店ダク

詳細はこちら



「TKWO吹奏楽カフェ」
特設ページ